

日 時：平成 29 年 5 月 17 日（水） 10：00～12：50

場 所：日本薬学会 長井記念館 1 階 AB 会議室

出席者：別記 1

配付資料：別記 2

○報告事項

1. 平成 28 年度第Ⅲ期実務実習実施状況・実務実習の良い事例の報告

平成 28 年度第Ⅲ期実務実習に関わる各地区の報告書（資料 1）および、平成 28 年度第Ⅲ期実務実習の良い事例報告書（資料 2）を事前に中央調整機構委員会委員へ配付した。本委員会では本報告書の内容について、特段の報告や意見は出されなかった。

2. 平成 28 年度監事監査報告

資料 3-1（平成 28 年度事業報告案）について、簡単に阿刀田事務局長が報告した。また、資料 3-3（平成 28 年度収支報告）に基づき、本部は当期経常経費の赤字が続いており、このまま推移すれば 2 年後には繰越金がゼロになる恐れがある。事業の縮小か会費の値上げを検討する必要がある。また、第 31 回業務執行理事会において、各地区への補助金の縮小する案が出され、今後検討する可能性があると阿刀田事務局長が説明した。

協屋委員が、現在の状況では東海地区もあと 2 年で赤字となる恐れがあること、また、事業拡大よりも身の丈に合った事業をしてほしいと発言した。

3. アドバンスワークショップについて

資料 4（今後のアドバンスワークショップについて）に基づき、薬学教育者ワークショップ実施委員会 平田委員長が説明した。「大阪大学課題解決型高度医療人材養成プログラム運営委員会」の事業としては縮小するが、今後も継続して関わっていく。

アドバンスワークショップや新しい薬学教育者ワークショップのタスクフォースを務めた薬剤師に対して、アドバンスワークショップの参加者と同等以上と考えられるため、修了証を発行する等配慮が必要であると考えている。

また、薬学教育者ワークショップについて、受講を希望してもなかなか受講できないとの意見があると望月代表理事が発言した。これに対し、各地区調整機構において、今までのやり方を尊重しながら、調整していただきたいと平田委員長が回答した。

4. WEB システム検討委員会について

資料 5-1～5-3（第 6 回 WEB システム検討委員会議事録、実務実習概略評価表\_日本薬剤師会版、日本病院薬剤師会版）に基づき、オブザーバーとして出席されている WEB システム検討委員会 木津委員長が説明した。

平成 30 年度にはシステムのトライアルを実施する必要があるため、薬局実習については日本薬剤師会作成の評価を、病院実習については日本病院薬剤師会作成の評価を掲載する。これについて異議はなかった。薬局と病院共通の項目については、とりあえず別々の評価表を使用するが、トライアルを経て修正を加えていきたい、今後どのようにすり合わせるかが課題であると、石井

委員と永田委員が発言した。資料 5-2 について、6 月にはバージョンアップされたものが公表されるが、大幅な変更はないと永田委員が発言した。また、5-3 についても、今後大幅な変更はないと石井委員が発言した。

「認証」という言葉については、「確認」でよいのではないかとの意見が出され、次の WEB システム検討委員会において決定することになった。

#### 5. 広報用ポスターおよび受入施設証発行について

今年度のポスターの写真が薬局実習に馴染まないと、田尻委員と永田委員が発言した。また、昨年度病院で撮影しており、今後は病院と薬局で交互に撮影すると第 30 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会において決定したが、失念していた。来年度からは、名義を使用する各団体に対してポスター原案を図り、事前に許可を得る。

#### 6. 東京薬科大学に関する問題の報告

望月代表理事がこれまでの経緯を説明し、平成 31 年度からの実務実習に間に合うように話し合いを進めたいと発言した。これに対して、東京薬科大学は、現在も独自に講座を開く動きがある。なお、ワークショップは、学内 F D の一環であるとの説明を受けている。

東京薬科大学の指導薬剤師が更新講習を受講したいとの問い合わせが日本保険薬局協会へあったと佐藤氏が報告したが、日本薬剤師研修センターの実務実習指導薬剤師認定を持っていないので受講する意味はないと永田委員が発言した。

### ○協議事項

#### 1. 平成 31 年度の実務実習実施日程について

各地区が検討した結果を報告し、一番希望の多かった「B 案」（以下のとおり）を原則とすることに決定した。例年通り、地区によって数日程度調整することを認める。

第Ⅰ期：平成 31 年 2 月 25 日（月）～平成 31 年 5 月 12 日（日）

第Ⅱ期：平成 31 年 5 月 27 日（月）～平成 31 年 8 月 11 日（日）

第Ⅲ期：平成 31 年 8 月 26 日（月）～平成 31 年 11 月 10 日（日）

第Ⅳ期：平成 31 年 11 月 25 日（月）～平成 32 年 2 月 16 日（日）※1

※Ⅰ期とⅣ期の重なりはない。

※1 年末年始（12/30～1/5）は休みとする。

#### 2. 不祥事があった受入施設の取り扱いについて

資料 8（薬局実務実習に関するクオール薬局から薬学教育協議会への報告）に基づき、望月代表理事が報告した。

本文書について、「薬学教育協議会としては、一」（文書後半部分）に異論はないが、前半部分はクオール薬局社長としての責任が示されていないと永田委員が発言した。薬学教育協議会としては、厚生労働省の見解が出されるまでは、クオール薬局における薬局実務実習に関して結論を示すことはなく、各大学から学生の実習先変更の希望が出された場合には、地区調整機構を介して個別に対応する。厚生労働省としても、事実確認中のためコメントできないと紀平氏が発言した。

### 3. 第 49 回理事会における指摘事項

- ・本部と支部の予算について
- ・臨床系（実務家）教員の実務研鑽について

研鑽を推奨する以上は、大学別に毎年調査を実施してほしいと遠藤委員が発言した。また、大学によって様々な事情があるが、どのようにすれば研鑽が進むか検証するために、調査結果は大学にフィードバックしてほしいとの意見があった。実務実習教科担当教員会議の野田委員長（名城大学）に相談することになった。

### 4. その他

- ・日本薬剤師会からの連絡事項

①日薬提出資料 1 のとおり、日本薬剤師会特別会員（学生会員）募集ポスターについて、お知らせとお願いがあった。日本薬剤師会から、ポスターを各地区調整機構へ送ることになった。

②日薬提出資料 2 に基づき、改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実習に向けた取り組みについて説明と協力依頼があった。

- ・平成 30 年度の実務実習におけるトライアルは、改訂モデル・コアカリキュラムの評価を使うことを確認した。なお、全員を対象としてトライアルを実施すると、永田委員が発言した。

- ・今後、本委員会の資料を PDF にて送ってほしいとの要望があり、会議終了後に事務局から送ることになった。

以上

別記1 第33回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会出席者名簿

所属	出席者名 (敬称略)	出欠
北海道地区調整機構	宮本 篤	○
東北地区調整機構	工藤 賢三	○
関東地区調整機構	伊東 明彦	○
	須田 晃治	○
北陸地区調整機構	新田 淳美	○
東海地区調整機構	脇屋 義文	○
近畿地区調整機構	橋詰 勉	欠
	平田 收正	代理
中国・四国地区調整機構	手嶋 大輔	○
	島田 憲一	○
九州・山口地区調整機構	原 周司	○
日本薬剤師会	田尻 泰典	○
	永田 泰造	○
	吉田 力久	オブザーバー
日本病院薬剤師会	遠藤 一司	○
	石井 伊都子	○
日本保険薬局協会	原 正朝	欠
	佐藤 頼子	代理
WEB システム検討委員会委員長 (オブザーバー)	木津 純子	○
薬学教育協議会本部	望月 正隆	○
	増野 匡彦	欠
	阿刀田 英子	○
日本チェーンドラッグストア協会	小田 兵馬	オブザーバー
文部科学省高等教育局医学教育課	前島 一実	○
	福村 基徳	○
厚生労働省医薬・生活衛生局総務課	紀平 哲也	○
	廣部 祥子	○

**別記 2** 配付資料

- 資料 1： 平成 28 年度第Ⅲ期実務実習に関わる各地区の報告書
- 資料 2： 平成 28 年度第Ⅲ期実務実習の良い事例の報告書
- 資料 3-1： 平成 28 年度事業報告（案）
- 資料 3-2： 平成 29 年度事業計画
- 資料 3-3： 平成 28 年度収支報告書
- 資料 3-4： 平成 29 年度予算
- 資料 4： 今後のアドバンスワークショップについて
- 資料 5-1： 第 6 回 WEB システム検討委員会議事録
- 資料 5-2： 実務実習概略評価表（日本薬剤師会）
- 資料 5-3： 実務実習概略評価表（日本病院薬剤師会）
- 資料 6-1： 平成 29 年度実務実習広報用ポスターおよび受入施設証発行枚数
- 資料 6-2： 実務実習広報用ポスター
- 資料 7： 平成 31 年度実務実習実施日程（案）
- 資料 8： 薬局実務実習に関するクオール薬局から薬学教育協議会への報告
- 資料 9-1： 第 49 回理事会議事録（案）（抜粋）
- 資料 9-2： 薬学臨床系教員の現状に関するアンケート調査
- 第 32 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録
- 追加資料： 日本薬剤師会特別会員（学生会員）募集ポスターについて（日本薬剤師会資料）
- 追加資料： 改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実習に向けた取り組みについて  
(日本薬剤師会資料)